

恐竜のまちづくり最前線

パート **7**

恐竜が
出たゾー!



今後は恐竜化石を活かしたまちづくりを皆さんと一緒に考える取り組みが始まります。

ジャケット開封 続々!

7月2日(木)、昨年までの発掘調査で回収された恐竜化石を含むジャケットが新しく開封されました。今回開けられたジャケットは4月下旬に開封したジャケットと同様に上顎骨(上あごの骨)の一部が見つかった付近のノジュールを含んでいます。このジャケットのクリーニングによって新たな頭の骨が見つかることが期待されています。特に関心が集まっているのは「トサカ」です。ハドロサウルス科恐竜は中空のトサカをもつグループとそうでないグループとに大別される(※)ため、トサカの有無や特徴がわかれば、むかわ恐竜の生体復元や、より詳細な研究に役立ちます。



母岩を削ってノジュールを取り出していきます。

(※)ハドロサウルス科恐竜の分類

図はFastovsky and Weishampel(2015)をもとに作成

〈ランベオサウルス亜科〉

中空のトサカをもつ



コリトサウルス



パラサウロロフス

〈ハドロサウルス亜科〉

トサカをもつが中空ではない

トサカをもたない



サウロロフス



エドモントサウルス



パラサウロロフスがやってきた!

「恐竜・絶滅ワニ展」の舞台裏

穂別博物館では7月18日(土)より夏期特別展「恐竜・絶滅ワニ展」を開催中です。今回はその舞台裏をほんの少しだけ紹介します!

今回の特別展は、各地の恐竜展で標本の組み立てなど展示製作に携わっている有限会社ゴビサポートジャパンの協力のもとで進められました。写真は北海道大学総合博物館より貸し出された約4mのパラサウロロフスのレプリカを運んでいる様子です。展示がどのように作られているのかにもぜひ注目してみてくださいね。

担当：太田晶(地域おこし協力隊)

人々の動き

平成27年6月30日現在

※()は前月比。住基法の改正により、外国人数を含まず。

- ▶ 人口 **8,867人(-17)**
- ▶ 男性 4,361人(1)
- ▶ 女性 4,506人(-18)
- ▶ 鶴川地区 6,017人(-5)
- ▶ 穂別地区 2,850人(-12)
- ▶ 世帯 **4,441世帯(-2)**

平成27年6月1日～30日

出生 5人 死亡 14人
転入 16人 転出 24人

交通死亡事故ゼロ日数

平成27年6月30日現在



夏の交通安全運動期間が終わっても、油断することなく、安全運転を心がけましょう!

